



# いわて医療通信 緑内障

## 日本の失明原因を 知っていますか

「緑内障」という言葉を聞いたことはありますか。「白内障」と一文字違いですが、全く違う病気です。緑内障は、脳につながる目の神経が障害され、見えない部分がでてくる病気で、一般的に緑内障は40歳で5%、70歳で14%と歳を重ねると共に増えています。

緑内障は初めてのうち無症状のため、見えづらさに気づいたころはかなり進行していることがあります。緑内障により生じた視野障害は手術でも治すことはできません。そのため早期の段階で発見し、適切なタイミングで治療を開始することができます。

緑内障の主な原因は眼圧と血流障害です。目を閉じて、まぶたの上から目を硬さがありますね。その硬さを眼圧といいます。眼圧が高いと緑内障になりやすいと言われています。しかし眼圧が高くなくても緑内障になる場合があります。

緑内障の方に対する治療としては、点眼や手術によって眼圧を下げ、進行を予防する方法が主に行われています。緑内障は一時的に治療するというものではなく、一生付き合っていく病気です。これまで眼科とは縁がなかつた方も、40歳以上の方は緑内障検査のた

め一度眼科を受診してみてはいかがでしょうか。